

---

■ NY ダウ平均

---

週明けのニューヨーク株式市場は、アメリカ経済の回復が速まっているとの見方から幅広い銘柄に買い注文が出て値上がりし、ダウ平均株価は史上最高値を更新しました。

5日のニューヨーク株式市場ダウ平均株価の終値は、先週末に比べて373ドル98セント高い、3万3527ドル19セントでした。

ニューヨーク市場は先週金曜日が休みだったため、3連休明けの取り引きとなりましたが、幅広い銘柄に買い注文が出て、ダウ平均株価は3月29日につけた終値を上回って史上最高値を更新しました。

先週発表されたアメリカの3月の雇用統計で雇用者数の伸びが市場の予想を大きく上回り、アメリカ経済の回復スピードが加速しているとの見方が広がりました。

また株価の重しとなっていた長期金利の上昇も抑えられているとして、IT関連銘柄も大きく値上がりしています。

市場関係者は「これまで回復が遅れてきた雇用の改善が進んでいるとの期待が膨らみ、サービス、観光、航空業などの業績回復が見込まれている。感染再拡大が依然リスクだが、ワクチンの普及と追加の経済対策が追い風になっている」と話しています。

業績うんぬんでは完全になくなってきましたね。

買えば上がる、上がるから買う。

反動が恐ろしいです。

## NYダウ

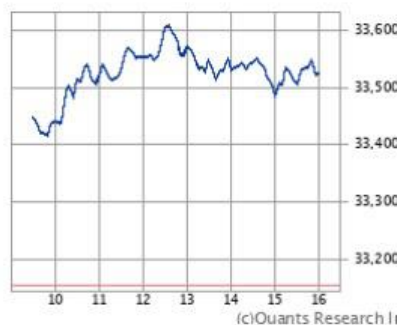
国内（株価・指標）：20分ディレイ、海外（株価・指標）：原則15分ディレイ（指  
よって異なります）、為替：10分ディレイ

現在値 **33,527.19** ↑ (21/04/05 16:20 EST)

前日比 **+373.98 (+1.13%)**

始値	<b>33,222.38</b>	前日終値	<b>33,153.21</b> (21/04/01)
高値	<b>33,617.95</b>	直近52週高値	<b>33,259.00</b> (21/03/29)
安値	<b>33,222.38</b>	直近52週安値	<b>21,693.63</b> (20/04/06)

5分足 21/04/05 16:20 EST



1日 | 2日 | 3日 | 5日 | 10日 | 1ヶ月 | 2ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 2年 | **3年** | 5年 | 10年

週足

21/04/05 16:20



## ■ ポンド

英国のジョンソン首相は 5 日、パンデミック感染拡大を抑制を目指した規制を 12 日から緩和する計画を明らかにした。パブやジム、小売り店の営業が再開される。

回復の遅れを警戒したポンド売りが後退。ポンド・ドルは 1.3862 ドルから 1.3913 ドルまで上昇。ポンド円は 153 円 10 銭で推移底堅い。

イギリス金貨の評価額をこの週末に半年前と比べてみたのですが、動画でもお伝えしましたように、為替だけで約 13%上昇していました。

これは、購入価格が 13%上昇したと同時に、売却価格も 13%値上がりしたことを意味します。

500 万円が 565 万円になったことは、保有している方にとっては大変ありがたいのですが、これから買う方にとっては、手が出しづらくなってしまいますね。

### 英ポンド/円

海外（株価・指標）：原則15分ディレイ（指数によって異なります）



---

## ■ 米国景気

---

米供給管理協会 (ISM) が5日発表した3月の非製造業総合指数 (NMI) は63.7と、前月の55.3から上昇し、統計開始以来の高水準を記録した。

気候が温暖になったことに加え、新規受注が堅調に伸び、予想の59.0も上回った。新型コロナウイルスワクチン接種の進展と政府の大規模な景気支援策で米経済が力強く回復していることが改めて示された。指数は50が景気拡大・縮小の節目となる。サービス業は米経済の3分の2以上を占める。

オックスフォード・エコノミクスのリード米国エコノミスト、オレン・クラチキン氏は「3月の堅調な非製造業活動は第2・四半期の力強い拡大に向けた下地となる」と指摘。「ワクチン接種対象の拡大、経済再開、歴史的な財政拡張など、サービス部門の回復加速に向け全ての条件が整いつつある」と述べた。

新規受注は67.2と、統計開始以来の高水準。前月は51.9と、9カ月ぶりの低水準を付けていた。

支払価格は74.0と、71.8から上昇し、2008年7月以来の高水準を付けた。サプライチェーン (供給網) の阻害が続いていることがコスト上昇につながっており、一部ではインフレ高進懸念も出ている。

雇用は57.2と、52.7から上昇し、19年5月以来の高水準。労働省が2日に発表した3月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比91万6000人増と、市場予想の64万7000人増を上回った。雇用の伸びを主導したのはレジャー・接客業で、レストランやバーなどの飲食業が増加分の3分の2を占めたが、こうした改善が裏付けられた。

ISMによると、サービス部門からは「新型コロナ関連の制限措置解除によって、ペントアップ (先送り) 需要が解き放たれている」と同時に、「生産能力の制約、原材料の不足、天候やロジスティック、人材に絡む課題が引き続きサプライチェーンの混乱を引き起こしている」ことが指摘された。

ISMが1日に発表した3月の製造業景気指数は64.7と、約37年ぶりの高水準。新規受注が力強く伸びた。

→ 米国は景気が過熱する傾向が鮮明となってきています。

イコール物価が上昇するということです。

イコール長期金利の上昇につながります。

近々発表されるCPIが注目されます。